

食道の構造

- ◆食べ物は摂取されると消化管を通り、消化・吸収され排泄されます。
- ◆食道は、口腔・咽頭から胃へとつながる約30cm程度の臓器です。

食道疾患の症状

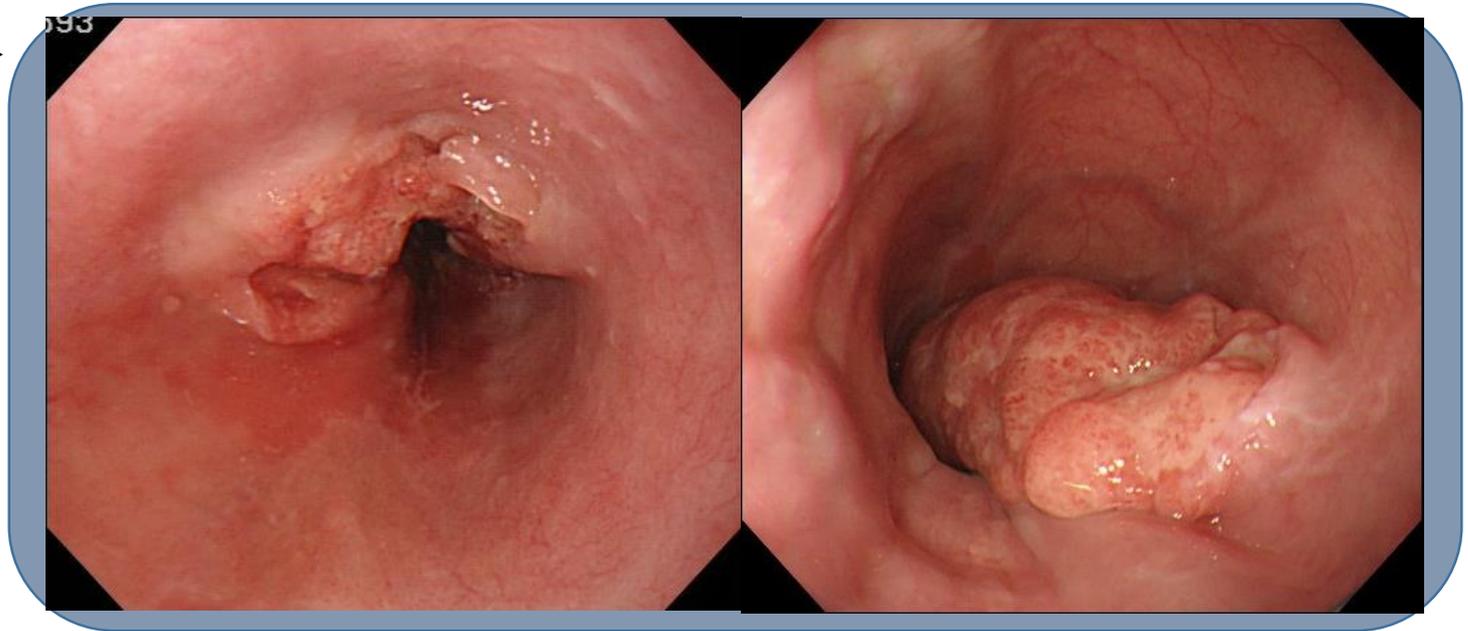
- ◆胸がムカムカがする
- ◆みぞおちが痛む
- ◆苦い液が口に上がってくる
- ◆物が飲み込みづらい
- ◆吐いたものに血が混ざる

食道癌

【疫学】

食道癌の罹患率は2004年の推計で28.8人／10万人(男性:24.4人>女性:4.0人)です。危険因子は、扁平上皮癌では喫煙・飲酒、腺癌ではバレット食道が挙げられます。

<内視鏡画像>

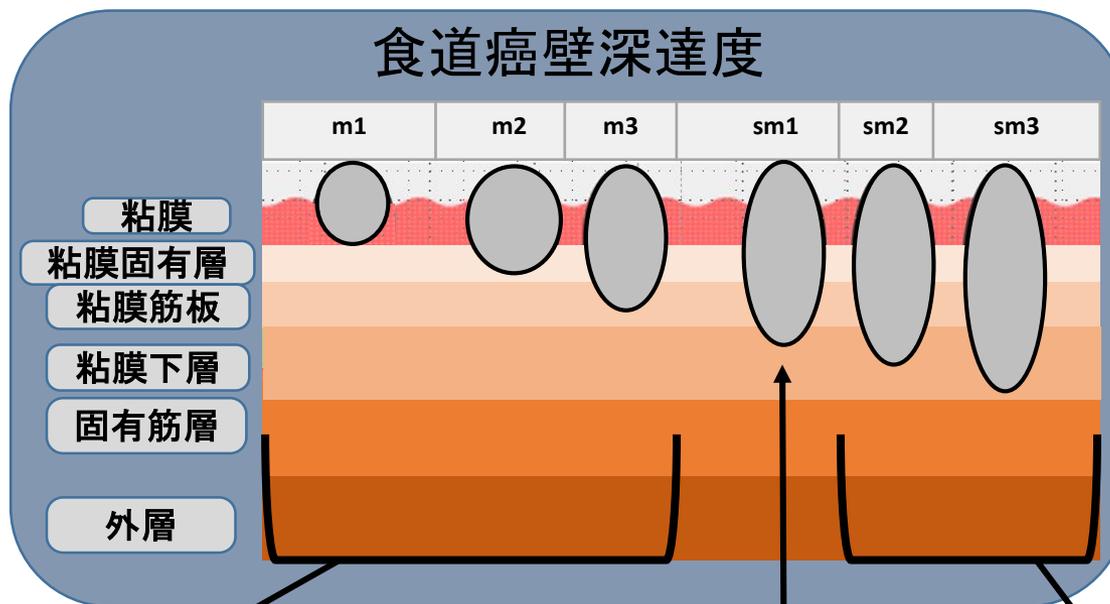


【検査・診断】

- 食道癌は上部消化管内視鏡検査や食道造影、CT検査等で発見・診断します。
- 他の悪性腫瘍と同様、食道癌の進行度(ステージ)を診断し治療へと進みます。

食道癌の治療

がん診療ガイドライン 食道癌より



◆ m1~m3

深達度が粘膜筋板までのものはリンパ節転移は極めて稀であり内視鏡的切除にて根治可能です。

◆ sm1

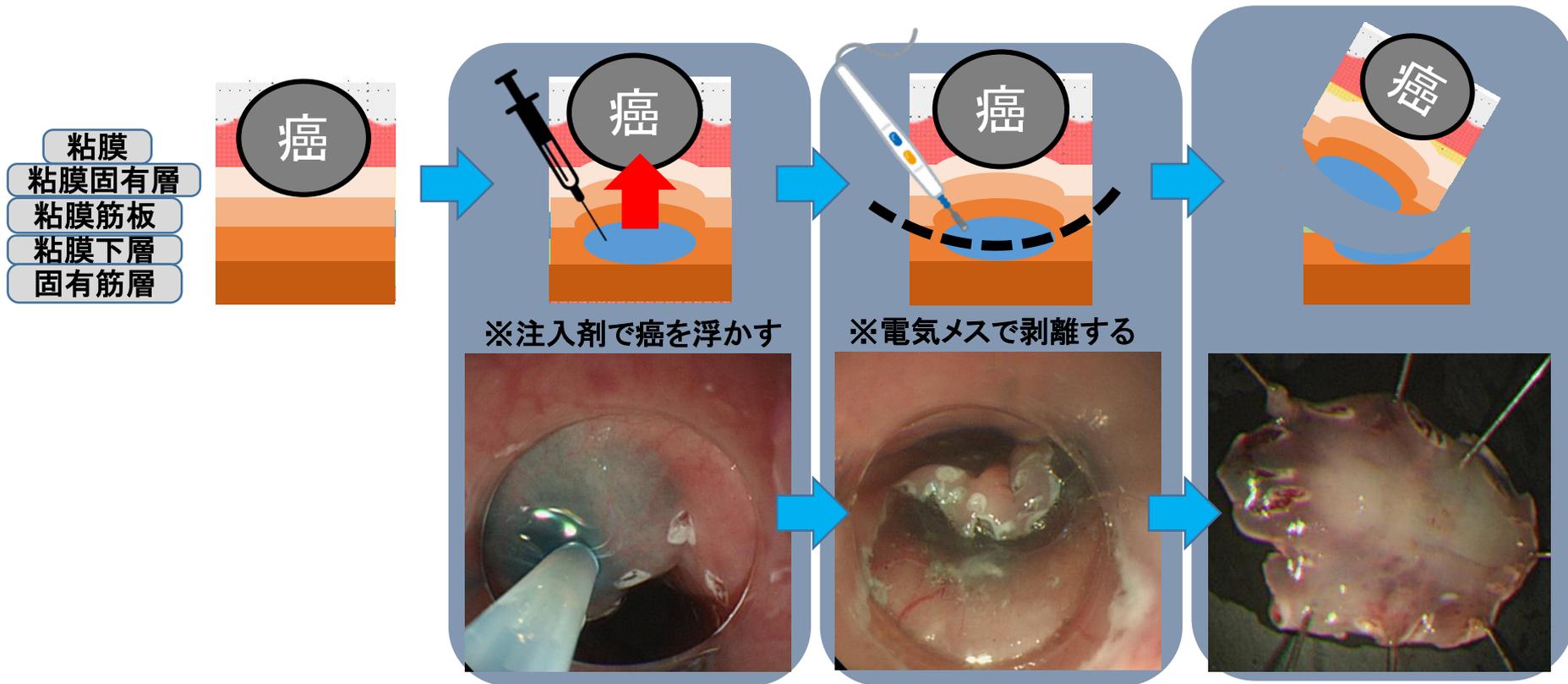
粘膜下層にわずかに浸潤したものは粘膜切除が可能でもリンパ節転移の可能性があり、相対的な適応です。

◆ sm2~

粘膜下層深くまで浸潤した食道癌は外科的治療や化学療法の適応です。

表在型食道癌の内視鏡治療

- ◆ 内視鏡的粘膜下層剥離術という治療を行います。
- ◆ 当院では約1週間～10日の入院加療となります。



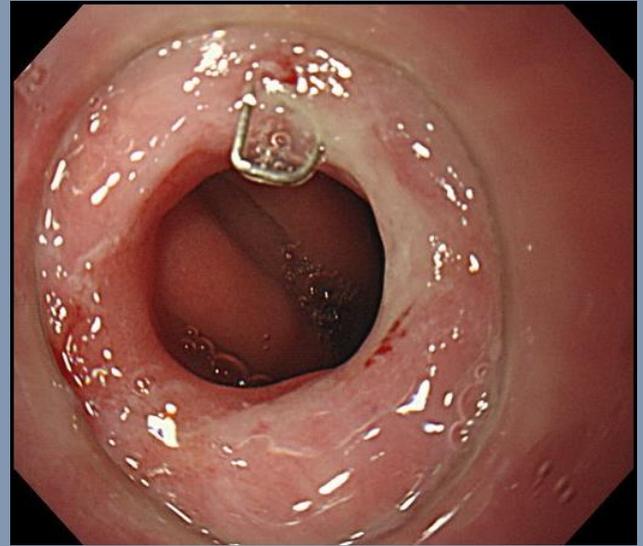
食道狭窄

逆流性食道炎や食道手術後による狭窄に対して、バルーンカテーテルで拡張術を行います。

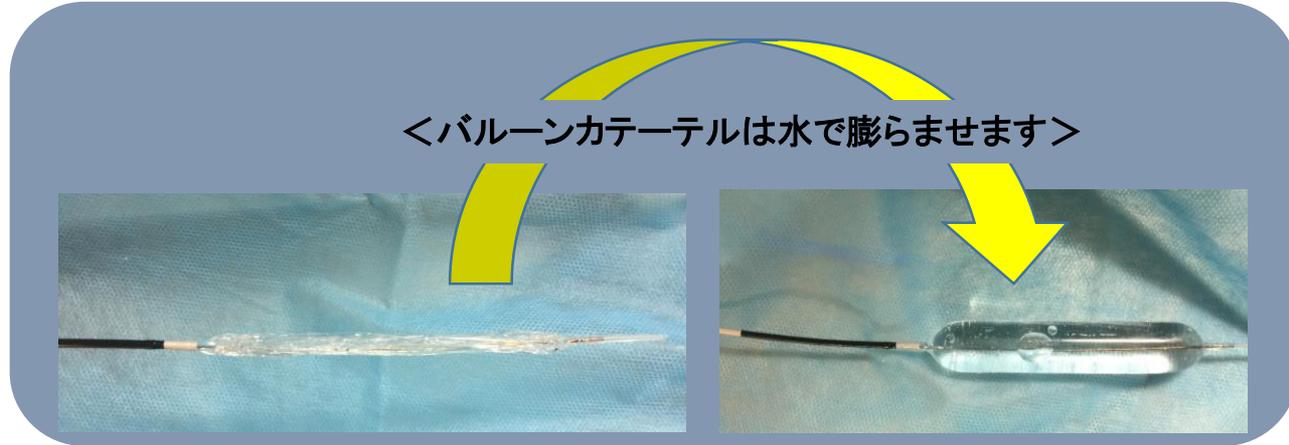
<逆流性食道炎瘢痕化>



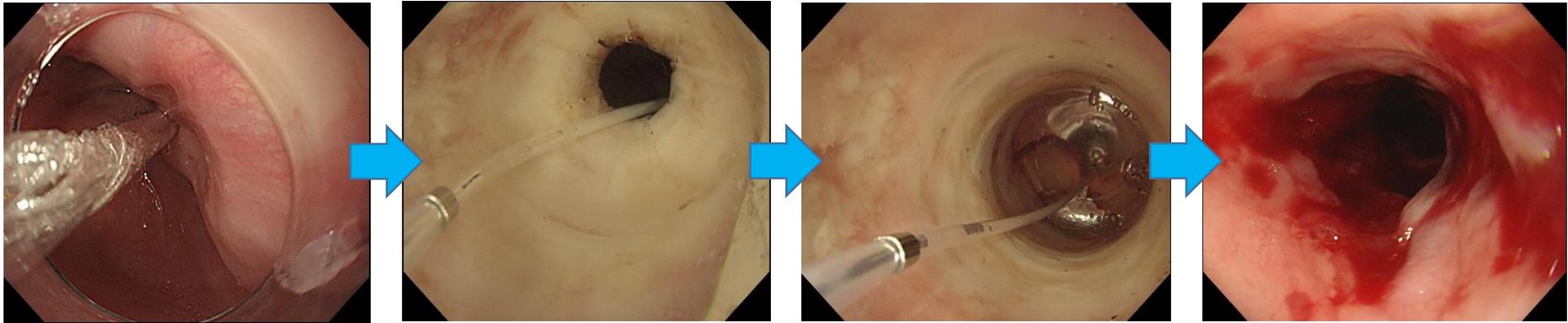
<食道癌手術後>



食道狭窄に対する拡張術



＜内視鏡を用いて、バルーンカテーテルで拡張術を行います。＞



※狭窄部位までバルーンを進めます

※狭窄部位でバルーンを徐々に膨らませます。